

トヨ子&としやの
市政報告

2019年
3月号
第43号

発行者：日本共産党大垣市議 団
発行日：2019年 3 月 1 日
連絡先：大垣市室本町 5－8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 企画総務委
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや 文教厚生委
市民病院に関する委 副委員長
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



3月議会はじまる

3月議会は3月4日から20日までの17日間で、議案日程は下記のとおりです。

(予算)

一般会計当初予算：644億7千万円
歳入の特徴

10月から始まる幼児教育の無償化にかかる経費の地方負担分を初年度の半年分に限り全額国費で負担することやプレミアム商品券事業費など国庫支出金は前年度を上回り、市税収入は、法人市民税の減収(△7.1%)が見込まれるが、固定資産税の増収等で微増。財政調整基金繰入や繰越金の増額で、一般会計としては前年度比8.9%増

3月議会日程

日	曜	時	会議名
4	月	9:30	議員総会
		10:0	本会議(提案説明)
5	火		(中学校卒業式)
6	水	10:0	一般質問申込・抽選
11	月	10:0	本会議(一般質問)
13	水	9:00	子育て支援日本一対策委員
		13:0	市民病院に関する委員会
14	木	9:0	建設環境委員会
15	金	9:00	経済産業委員会
18	月	9:00	文教厚生委員会
19	火	9:00	企画総務委員会
20	水	9:00	議会運営委員会
		10:0	本会議

の644億7千万円の予算になっています。

歳出の特徴

総務費は新庁舎建設費(72億1750万円)等で40.3%増、民生費はプレミアム付商品券発行事業(8億円)等で2.4%増、商工費はロボカップジュニア推進事業(5000万円)等4.3%増、土木費は公園新設改良費(4億7595万円)や通学路安全対策事業費(2億4229万円)等で4.7%増、等です。

子育て関連の予算から

ひまわり学園改築事業(1300万円)：ひまわり学園の移転改築で、設計委託料など。

不妊治療費助成事業(3239.1万円)：特定不妊治療(限度額10万円)一般不妊治療(限度額5万円)

荒崎幼保園改築事業(1億630

万円)：H33年3月完成予定鉄骨造2階建 受入人数230人

子ども医療費支給事業(9億950万円)：市単独制度5億2640万円、県制度(就学前)3億8310万円
プログラミング教育推進事業(2350万円)：児童がプログラミ的思考や創造性を高めるため、ICTを活用した教育活動。

幼稚園トイレ改修事業(990万円)：園舎トイレの様式化、宇留生・中川幼稚園)

小中学校トイレ改修事業(3億4600万円)：小学校7校、中学校3校で、今年で完了。

(条例関係)

・大垣市障害者福祉年金条例の一部改正について

障害者福祉年金の支給の適正化を図るため、市民税非課税を対象とする支給額の見直しを行う。

・大垣市母子家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について

児童扶養手当法の一部改正に伴い、母子家庭等医療費助成の受給資格に係る規定について、所要の改正を行う。

・大垣市営住宅条例の一部改正について

老朽化した市営住宅の入居者等の安全を確保するため、他の市営住宅に住み替える場合の特例措置を規定する。

・大垣市情報工房条例等の一部改正について、ほか5議案

消費税率等の引き上げ分について市の収入に転嫁するため、使用料、手数料等改正する。(消費税に伴い48条例、4800万円の増)

(請願)

請願第1号

・国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

請願第2号

・75歳以上の後期高齢者医療自己負担原則2割化に反対する意見書を求める請願

★ 紹介議員はいずれも笹田トヨ子議員

トヨ子&としやの2月活動日誌

笹田トヨ子

【2月】

4日 母親連絡会市との懇談
8日 生活相談
11日 後援会役員会
12日 女性後援会
14日 社会保障推進協議会
16日 県民が主人公の岐阜県政をつくる会
18日～24 街頭宣伝
21日 市民と野党のつどい
22日 水道事業に関する共産党県交渉に参加
25日 議会運営委員会
26日 西濃議員団会議
27日 岐阜市交通課視察
28日 ポッポの家視察

中田としや

【2月】

1日 行政相談
2日 バドミントン
4日 母親連絡会市との懇談
6日 ICTに関する委員会
11日 西濃教育フェスティバル
12日 女性後援会
14日 社会保障推進協議会
16日 青年後援会つどい
18日～24 街頭宣伝
21日 市民と野党のつどい
23日 沖縄米軍基地シール投票
24日 江東地区センターひなまつり春のかがやきライフタウン
25日 議会運営委員会
26日 西濃議員団会議
28日 予算説明会

「市民と野党のつどい」を西濃で開催 市民の生活感受け止め、共同推進

2月21日、スイトピアセンターで「市民と野党のつどい」が開催されました。

ピースハートぎふが主催して、中津川・大垣・高山と全県的に市民と野党の共同をすすめる行動の一環です。

しっかりした共同の確立

ピースハートのあゆみと集会の意義を述べて河合代表は、小見山氏を推して参院選をたたかった前回の反省から、各政党が協議して立てる統一候補のもとで、

- ① 全会派が合意する政策
 - ② 選挙体制の共同
 - ③ 全県的な運動の推進
- が強調されました。

続いて梅村慎一(立憲民主党)・野村美穂(国民民主党)・高木光弘(共産党)・戸田二郎(社会民主党)の各氏が、前回の戦いの反省や安倍政権への対決と共同の推進、与党王国岐阜県で統一候補を勝たようと、それぞれ力強く述べました。

市民の生活感をくみ取り 国政に生かす

市民の発言の場では、真宗大谷

派の僧侶の稲葉さんが、竹中彰元さんや何人かの「反戦僧侶」をあげつつ、戦争に進む現実の大地を見据え非戦という「共に歩む大地を見つけよう」と語られ、老人ホームを運営する杉山さんは、義母介護の苦労から開設に至る経緯と想いを語られました。

外国人労働者であるロザリオさんからは低収入で過酷な労働にもかかわらず年休も労災保障も知らない中で学びながら労働組合に入

共同の軸、共産党の躍進を！



女性後援会ミモザの会の街頭アピール

7月の参議院選挙は、選挙区選挙の一人区では統一候補を立てて必勝を期し、複数区や比例区では野党各会派が競い合いながら与党各派を包囲して追い詰め、野党勢力が全体として飛躍する中で安倍政権を退陣に追い込むよう、全力を尽くします。

2月20日の6野党・会派の書記長幹事長会談で、①32の一人区候補者調整をし、その都度発表して



り要求するようになったいきさつを語りました。

参加した政党代表の方々は、真摯に耳を傾けて市民の生の生活感を受け止めていました。

野党の共同は、このような取り組みの中で強固になることを実感できた「つどい」でした。

いく②市民連合との政策協定の議論を速やかに始める③衆参同日選挙を視野に入れ、意見交換・情報共有をしながら進める一との合意をしました。

共同する野党に敬意を払い連帯をしつつも、私たち共産党は「共同のかなめ共産党の躍進を」と訴えて、地方選挙・参議院選挙(衆参同日選挙)をたたかい抜く決意です。

選挙日程

県議選 告示…3月29日(金)
投票日…4月7日(日)
市議選 告示…4月14日(日)
★町議選告示…16日(火)
投票日…4月21日(日)
参院選…7月中(投票日未定)
★7月4日(木)告示 7月21日(日)投票
が有力

四年間の取り組みと今後の課題

市民の声を議会に

市民のみなさんに支えられて、夢中でかけ抜けた四年間ですが、すべての本会議の質問で皆さんの声を議会に伝えてきました。

新庁舎建設に市は踏み切りましたが、耐震強化で延期をとの声を市に届け、他会派・市民の皆さんとともに歩むことの大切さを学ぶこともできました。

二人の幼児を持つ私です。隠れ待機児童・保育士の不足など、議会で質問に立ちましたが、真に「子育てしやすいまちづくり」へのいっそうの努力をする決意です。

市民要求の実現

皆さんの身近で切実な要望を市に伝え、早期実現を図るため仲介する活動も大切です。

この間、生活道路の交差点で作業をしている電柱を移動させてという要望や、安全のために橋の傍らの堤防にガードレール設置をとという要望を市に伝えました。市の職員の方にすばやく対応していただき、喜ばれました。

こうした市民要求の実現は、市民と行政の距離が近づくよう



新設ガードレール(中央奥)

で、私もやりがいを感じる活動の数々です。

皆さんの相談の中には、町内会での折り合いの問題や個人的な生活問題も含まれます。私で解決できないことは、左表のスタッフの協力を求めながら対応しています。

いっそう増す課題

一期目で、市政に熟達できてはいませんが、市政が見えてくるにつれ改善したい点が増してきます。①議会のケーブルテレビ放映が実現したが、市のHPでいつでも見られるように ②高齢者が多い国民健康保険、国保料金をもっと下げて ③もっと保育士を増やして行き届いた保育園に…など。

市政にあたる職員の方々の努力を身近に見るにつけ、三割自治ともいわれるように国政に振り回される点も数々あります。悪政を許さず、国に対してしっかり要求していく姿勢を貫く覚悟です。



ガードレール設置前

国民の立場で真実を伝え続ける
しんぶん赤旗をお読みください
日刊紙…3497円 日曜版…930円

「市民と野党のつどい」を西濃で開催 市民の生活感受け止め、共同推進

2月21日、スイトピアセンターで「市民と野党のつどい」が開催されました。

ピースハートぎふが主催して、中津川・大垣・高山と全県的に市民と野党の共同をすすめる行動の一環です。

しっかりした共同の確立

ピースハートのあゆみと集会の意義を述べて河合代表は、小見山氏を推して参院選をたたかった前回の反省から、各政党が協議して立てる統一候補のもとで、

- ① 全会派が合意する政策
 - ② 選挙体制の共同
 - ③ 全県的な運動の推進
- が強調されました。

続いて梅村慎一(立憲民主党)・野村美穂(国民民主党)・高木光弘(共産党)・戸田二郎(社会民主党)の各氏が、前回の戦いの反省や安倍政権への対決と共同の推進、与党王国岐阜県で統一候補を勝たようと、それぞれ力強く述べました。

市民の生活感をくみ取り

国政に生かす

市民の発言の場では、真宗大谷



派の僧侶の稲葉さんが、竹中彰元さんや何人かの「反戦僧侶」をあげつつ、戦争に進む現実の大地を見据え非戦という「共に歩む大地を見つけよう」と語られ、老人ホームを運営する杉山さんは、義母介護の苦勞から開設に至る経緯と意見を語られました。

外国人労働者であるロザリオさんからは低収入で過酷な労働にもかかわらず年休も労災保障も知らない中で学びながら労働組合に入

共同の軸、共産党の躍進を！



女性後援会ミモザの会の街頭アピール

7月の参議院選挙は、選挙区選挙の一人区では統一候補を立てて必勝を期し、複数区や比例区では野党各会派が競い合いながら与党各派を包囲して追い詰め、野党勢力が全体として飛躍する中で安倍政権を退陣に追い込むよう、全力を尽くします。

2月20日の6野党・会派の書記長幹事長会談で、①32の一人区候補者調整をし、その都度発表して



り要求するようになったいきさつを語りました。

参加した政党代表の方々は、真摯に耳を傾けて市民の生の生活感を受け止めていました。

野党の共同は、このような取り組みの中で強固になることを実感できた「つどい」でした。

いく②市民連合との政策協定の議論を速やかに始める③衆参同日選挙を視野に入れ、意見交換・情報共有をしながら進める一との合意をしました。

共同する野党に敬意を払い連帯をしつつも、私たち共産党は「共同のかなめ共産党の躍進を」と訴えて、地方選挙・参議院選挙(衆参同日選挙)をたたかい抜く決意です。

選挙日程

県議選 告示…3月29日(金)

投票日…4月7日(日)

市議選 告示…4月14日(日)

★町議選告示…16日(火)

投票日…4月21日(日)

参院選…7月中(投票日未定)

★7月4日(木)告示 7月21日(日)投票
が有力

はんざわ多美の 市政ウォッチング

支援者の方が政治活動用の「のぼり」をなんと！手作りしてくれました。布が余ったというので、収納袋のオマケつきです。キャッチコピーは「女性の声を市政へ」です。こうした支援者の皆さんの想いをぜひ議会に届けなければと決意を新たにしています。



さて、西濃地域の女性議員を見てみると、下記の表のように少ないことがわかります。大垣市では現在、13.6%にとどまります。

女性は社会的な役割として、子育てに始まり、子育てが終わると親の介護が待ち受け、それが終わって気づいてみると今度は自分の老後というライフサイクルを描くことが多かったといえます。こうした時代背景の

中で、公的なサービスの不十分さや時代の影響で苦勞を重ねてこられた方も少なくありません。



はんざわ多美

女性の視点からの議会活動の必要性を強く感じます。例えば、子育て支援・教育政策の充実。介護サービスの充実。そして交通政策など高齢期の生活を守る政策、高すぎる国保料の引き下げや年金引き下げへの反対、大垣の宝である「垣老(70歳以上医療費1割負担)」を守ることなどに全力で取り組みます。

望まれる 女性議員の比率向上

西濃地域の女性議員数

市町村	議員定数	女性	割合
関ヶ原	9	2	22.2
安八	10	2	20.0
大野	12	2	16.7
養老	13	2	15.4
大垣	22	3	13.6
海津	15	2	13.3
神戸	10	1	10.0
輪之内	10	1	10.0
垂井	13	1	7.7
揖斐川	17	1	5.9
池田	10	0	0.0